大東文化大学国際関係学部 新入生のみなさんへ

大東文化大学国際関係学部長

課題図書レポートの作成について (チュートリアル授業課題)

新入生のみなさん、国際関係学部への入学おめでとうございます。

今回、新型コロナウイルス感染症対策により、入学式中止、授業開始日の延期が決まり、本来、大学生活への期待・楽しみが膨らむ頃に、「入学した実感が持てない」と不安を感じている頃ではないでしょうか。

国際関係学部では、これからの学生生活を有意義に送ることができるよう、1年生必修科目「チュートリアル」があります。授業が始まるまで、少し時間が空いてしまうので、皆さんには「課題図書」レポートを作成してもらうこととしました。

国際関係学部の学びは、日々、世界中で起きている様々な事象に関係します。今回の感染症を例にとっても、日本で、アジアで、世界で何が起きて、あるいは国家間でどのような問題が発生しているか。ひとつひとつ読み解いていくことも、これからの大学時代にとても重要な情報です。

課題図書は、いまこのような世界情勢だからこそ、皆さんのこれからの勉強に価値あると認められる書物です。大学時代は多くの書物と出会い、教員とともに知識を深めていきますが、そのスタートとして、この課題に取り組んでください。

詳細は、DBポータル上でお知らせしていますので、これからの大学生活に想いを馳せながらレポートを作成してください。

また、これ以外にも学部からの連絡はDBポータルを通じて行うので、各自必ず確認するようにしてください。

記

課題図書・様式 : 裏面及びDBポータルを確認すること

提出期限・方法 : チュートリアル初回授業で、担当教員に提出すること

以上

(問い合わせ) 大東文化大学 国際関係学部事務室

Tel: 0493-31-1513 E-mail: kokusai1986@jm.daito.ac.jp

課 題

「石 弘之『感染症の世界史』角川ソフィア文庫、2018年|

「飯島 渉『感染症の中国史 - 公衆衛生と東アジア』中公新書、2009年」

「森川 友義『改訂版 大学 4 年間で絶対やっておくべきこと なんとなく卒業しないための 50 のルール』 KADOKAWA、2019 年 |

「スペンサー・ジョンソン『チーズはどこへ消えた?』扶桑社、2000年」

「中根千枝『タテ社会と現代日本』講談社現代新書、2019年」

以上、課題図書5冊の中から、どれか1冊を読んだ上で、

次の3点に従って、2,000字程度のレポートを作成しなさい。

1.課題図書の要約

単に引用するのではなく、本の概要と筆者の考え(主張)を整理すること

2.課題図書を読んだ感想と自分の考え(主張)を示すこと

筆者の主張に賛成できる点、疑問に思う点を整理して、自分の意見を書くこと

3.レポートの構成(アウトライン)を意識すること

単なる読書感想文ではなく、自分の主張を読み手に納得させる作文をすること

提出期限・方法

チュートリアル初回授業(5月12日(火)1限予定)で、担当教員に提出すること。

様 式

①原稿はパソコン (Word など) で作成すること。

A 4 サイズ 2 枚程度(印刷向き 縦、文字列の方向 横書き)。

1ページ当たりの文字数は 40 字×30 行とする。図やグラフの挿入は可

- ※ただし、パソコンで作成できない場合に限り、本人の自筆により400 字詰め 原稿用紙(A4 横書き、20 字×20 行)を使用してよい。
- ②「レポート表紙」に、学籍番号・氏名を記入し、レポートに添えること。

注 意 事 項

- ①この課題は、チュートリアルの成績評価の対象とするので、必ず提出すること。
- ②「大学のレポートの書き方」は DB ポータル掲載資料を参考にすること。
- ③提出期限・方法・様式は、新型コロナウイルス感染症の状況次第で、変更になる可能性もあるので、随時DBポータルを確認すること。